

正しく恐れ、正しく備える

大曲並木3丁目のいま

9月1日は防災の日です。大正12年のこの日に関東大震災が発生したこと、昭和34年9月26日に伊勢湾台風が日本に上陸し、戦後最大の被害を受けたことなどを教訓に、災害への心構えを忘れないよう、昭和35年に制定されました。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。備えは万全ですか。

問合せ ● 災害への備えについて 〓 危機管理課 (☎3723311・内線3344)

● 復旧・復興工事について 〓 災害復興支援担当 (内線3361)

災害は突然に

大雨や台風による被害は毎年、後を絶ちません。市内でも自然災害により度々、被害を受けてきました。平成30年9月、北海道胆振東部地震が発生。地盤沈下や土砂崩れ、大規模停電など私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしました。市内でも震度5弱の揺れを計測し、家屋の全壊・半壊・一部損壊など700棟以上が被害を受けています。災害から4年が経過しました。復旧・復興を遂げる地域の姿から、災害への備えを考えてみませんか。

災害に備えましょう

風水害に備える

集中豪雨や強風による倒木被害が、交通や電気などのライフラインに大きな被害をもたらすことがあります。天気予報や気象情報に注意し、避難場所・経路を確認。非常備蓄品・持ち出し品を準備しましょう。

土砂災害に備える

土砂災害の要因となる降雨について、日頃から天気予報などで確認しましょう。

<土砂災害の前ぶれ>

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 川の流れが濁り、流木が混ざり始める など

地震に備える

家の耐震診断やブロック塀の点検・補強をしましょう。地震時のけがの原因は家具の転倒によるものが最も多く、室内が散乱し逃げ遅れる原因にもつながります。家具などの配置や固定方法について見直しましょう。

北広島島の災害

昭和56年8月4日～6日・8月23日～8月24日

豪雨と台風第15号により石狩川本支川の10カ所が破堤。濁流が流れ込み、農作物が全滅した地域もあった。函館本線千歳線など全道で鉄道10線が不通。国道36号・12号のほか、17本の幹線道路が通行止めになった。



(上) 輪厚川で堤防越水 (下) 中央橋付近

平成22年12月2日

札幌市清田区を震源に深さ10km、マグニチュード4.5の内陸型地震が発生。震源地に近い大曲地区では震度4相当と想定される揺れが発生し、大きな被害を受けた。

平成30年9月6日

北海道胆振東部地震

胆振地方中東部を震源に深さ37km、マグニチュード6.7の地震が発生。市内全域が停電し一部地域で住宅が倒壊、避難指示(緊急)が発令された。

大曲並木3丁目の復興

北海道胆振東部地震で大きな被害を受けた大曲並木3丁目の復旧・復興工事が今年1月に完了しました。

盛り土造成したエリアに、被災した住宅地の大半が集中していて、特に谷部を盛土した箇所での被害が顕著でした。工事は、被害の状況に応じてエリアごとに実施しました。

Aエリアでは、擁壁は残りつつも宅地に変状をきたして亀裂などが多く発生し、家屋が傾斜するなどの被害が多く発生していました。そこで、既設の擁壁をそのまま置いた工法を採用し、張りコンクリートと鉄筋挿入工で被害を受けた擁壁の保全と補強をしました。



Bエリアでは、擁壁も含めて宅地が崩落し、11棟あつた家屋が全壊するという

大きな被害を受けました。このエリアは宅地として復旧することが困難だったこと

から、崩壊した宅地の盛土を撤去した後、抑え盛土工を施工し、緑地として整備しました。



Cエリアでは、宅地と宅地の間にある高い擁壁に亀裂などの不

具合が多く発生し、家屋が傾斜するなどの被害が発生しました。

そこでAエリアと同じ工法を採用し、張りコンクリートと鉄筋挿入工で高台側宅地の地盤を安定させました。



被害の大きな要因の一つであった、高い地下水位を低下させる工事も完了し、多くの土砂が流れた大曲川の改修工事もち早く完了しています。着工から完成まで、被災した方々をはじめ地域の皆様のご理解、ご協力を得て、工事を進めました。

地域コミュニティの拠点づくり

みどりの里住民集会所の建替え工事は令和4年3月に完了しました。

これまで、

代替施設で活動していた皆さんの新しい活動拠点や地域コミュニティを再構築する一助になるよう、住民説明会での意見や要望を聞きながら、整備をしました。



過去の経験から備えを

復旧・復興工事が完了しても、被災した多くの方々がつらい思いをしたことや、住宅が崩壊したなどの理由でこの地を離れてしまったことを忘れてはいけません。

地震や台風などの自然災害は、時に、想像を超える力で襲ってきます。しかし、経験を生かし、日頃から対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。災害の記憶を風化させず、一人一人が防災について考えることが何より大切なのです。

水防訓練を実施しました

市では水害時に迅速・的確に対応できるよう水防訓練を行っています。7月26日に行われた訓練には建設業協会、陸上自衛隊、市職員など約100人が参加し、土のう作成など水防工法を実践して災害への備えを学びました。



防災ガイドブックを更新します

災害への備えや対処法、避難所マップなどを掲載した防災ガイドブックの最新版を作成中です。

発行は、令和5年3月の予定です。



* 指定避難所一覧は、本紙16ページにも掲載していますので、ご覧ください。